

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらんぼはうす			
○保護者評価実施期間	R7年 4月 10日		～	R7年 5月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R7年 4月 15日		～	R7年 5月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の子供達と一緒に活動する事で、高学年の児童が自信や責任感を高め、リーダーシップを発揮し、下級生をサポートする事で思いやりや協調性を育てている。	大きい子が自然と小さい子に手を貸すという意識があるので、皆で行えるようにしている。	このまま、ある程度見守りながら工夫できる所は声を掛けていく。
2	異年齢の子供達と一緒に遊ぶ事で遊びの幅が広がり、多様な関わり方を学ぶ事が出来ている。	年齢で分けて、皆で楽しむようにしている。	問題が生じた場合、皆で考えられるようにしていく。
3	職員間の連携がとれている。	何事も話し、共有している。	今後も変わらず継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同じ活動でも、その子の能力によって内容に差がでてしまう事。	個人差の為	その場に応じてグループ分けをし、行う内容や工程を変化させる。
2	異年齢と一緒に活動する事で、主に年長者が待ち時間が長い事で、退屈に感じてしまう事がある。	出来るのを待たず、終わった子には次の課題を提供できていない。	待たないと成立しない物以外は、次の課題の提供をする。
3	活動室が広い為、職員の声が届かなかったり、指示が入りにくい時がある。	個々の状況に合わせた支援をする為の十分な時間の確保。	限られた時間内で行う為、職員同士声を掛け合って時間の確保をしていく。